

2023年 ICRC 年次報告書より

FACTS AND FIGURES

数字とグラフでみる ICRC の活動

1日の平均



83人

アフガニスタン: ICRC が支援する病院で手術を行いました



893人

ソマリア: 食料支援を受けました



3,145人

イエメン: 医療施設で診察を受けました



39,790人

シリア: 衛生環境が整備され、安全な水を受け取りました



151人

イラク: 収容所で訪問を受けました



75回

コロンビア: 離散家族間の通話が実現しました

75 & 80 “戦争とはいえやりたい放題は許されない”

2024年に75周年を迎えたジュネーブ諸条約。第二次世界大戦の反省から、民間人や捕虜の保護などを強化して4つに発展しました。国際人道法の根幹を成す世界共通の約束事です。そして2025年は戦後80年。広島と長崎に投下された原爆は、人道にとつともない苦しみと荒廃をもたらしました。私たちはこの悲劇から学んだ教訓を、忘れるわけにはいきません。核兵器を含む戦時の行き過ぎた行為を予防・制限するため、ICRCは国際人道法の守護者として、紛争当事者や影響力を持つ人々との対話を世界中で続けています。



2023年の活動規模

 **19,450人**

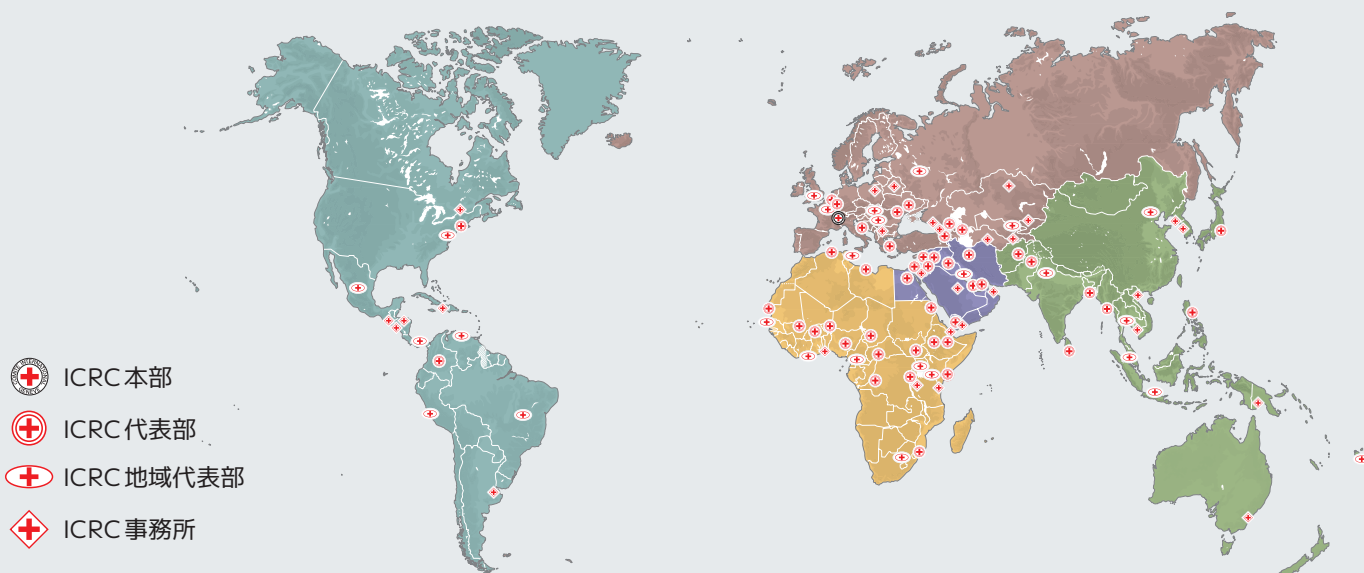
 **101カ所**

ICRCの職員数

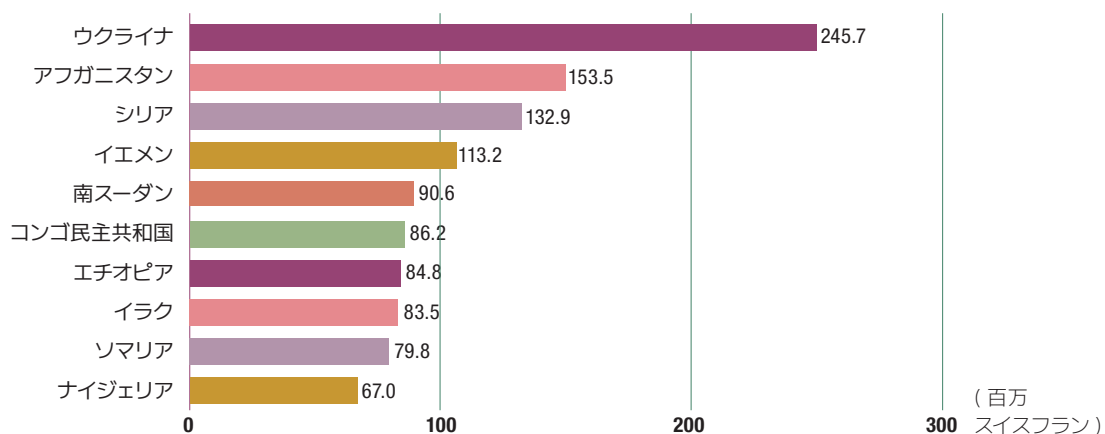
ジュネーブ本部	1,282人
フィールド	18,168人
▪ 現地要員	15,385人
▪ 国際要員	2,783人

地域別 ICRC の拠点数

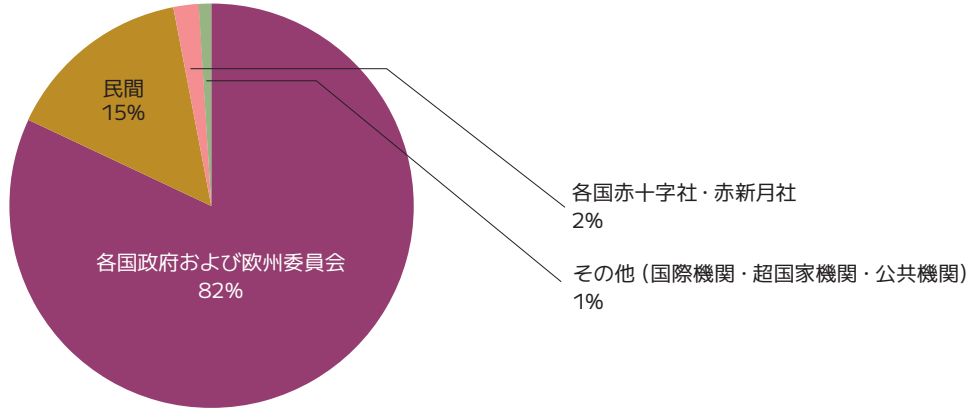
アフリカ	28
南北アメリカ	14
アジア大洋州	19
ヨーロッパ・中央アジア	25
中東	15



活動規模 上位 10 カ国・地域

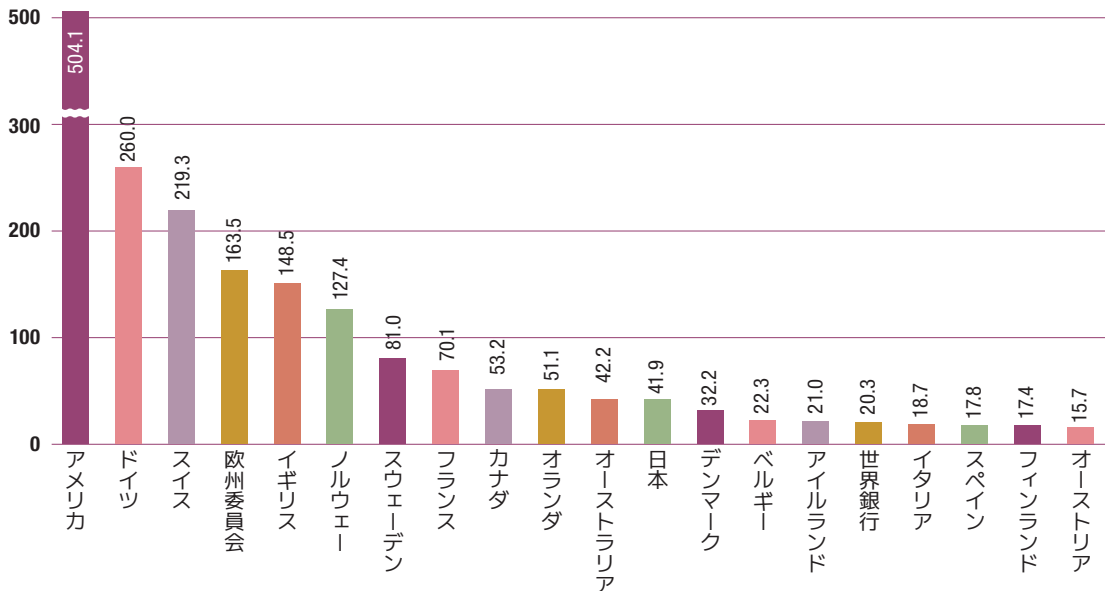


ICRCの資金源



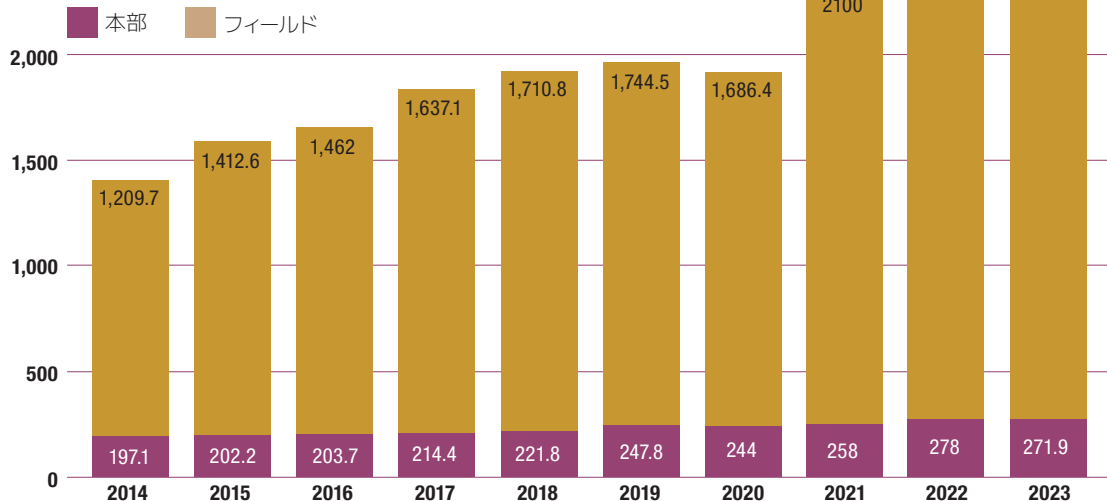
拠出額 上位 20 ドナー

(百万
スイスフラン)



過去10年の活動費推移

(百万スイスフラン)



1 スイスフラン = 約 167 円 (2024 年 9 月時点)



障がい者支援

289 のプロジェクトを通じて、身体リハビリテーションサービスを提供しました。2 万 2,335 の人工装具と 11 万 3,686 の補装具を生産・納品。8,999 の車椅子および姿勢矯正を目的とした補装具のほとんどを現地で生産し、支援対象者に提供しました。



家族の連絡回復・再会支援

12 万 4,387 通 (うち 1 万 9,343 通は被拘束者からの赤十字通信が寄せられ、9 万 8,967 通 (うち 8,300 通は被拘束者宛) を届けました。武力紛争やその他暴力を伴う事態や、移動・移住、拘束などに伴い離散した家族に対し、187 万 3,156 件の家族間通話を支援しました。また、ICRC は保護者がいない、あるいは保護者と引き離された子ども 2,359 人 (うち 1,055 人は女兒) を登録。その中には元子ども兵士 155 人も含まれます。2,359 人のうち、727 人が家族との再会を果たし、15,104 人の消息や安否が判明しました。



水と暮らし

3,628 万 1,293 人が家事や灌漑、飲み水として利用する安全な水へのアクセスを確保し、劣悪な衛生環境による健康被害へのリスクを低減、全般的な生活の質の向上にも繋がりました。そのうち 3,608 万 6,869 人は国内避難民、難民、帰還者、地元住民で、19 万 4,424 人は被拘束者でした。また、195 の医療施設やリハビリ施設の建設および修復工事をおこないました。



武器汚染処理

地雷や不発弾のある 46 の国や地域で暮らす人びとを支援。特に地雷については、爆発の危険性や安全にまつわる教育活動や、関連データの収集および分析、除去活動、地元の地雷撤去グループへのトレーニングなどを実施。国連や NGO とも協力して地雷対策を強化しました。



医療支援

734 か所の病院を定期的または一時的に支援。そのうち 149 の病院で、武器で負傷した 4 万 7,851 人と妊産婦 11 万 1,357 人を診療し、16 万 3,134 件の外科手術を行いました。支援した 679 のプライマリヘルスケア施設では、1,047 万 4,110 件の治療相談に対応し、1 年間で 1,610 万 4,023 人が利用しました。また、戦闘下での悲惨な体験からくる心理的負担を緩和するため、3 万 898 人の民間人が心のケアを受けました。加えて、各国赤十字社、赤新月社のボランティアを含む人びとに対して、1,753 件の応急手当トレーニングを実施。ボランティアを含む参加者は、月平均で 4 万 1,000 人でした。



生計の安定

社会的に弱い立場にある個人や家庭、コミュニティの経済的安定を目的とした支援を行いました。国内避難民をはじめ、支援の届きにくい遠隔地に暮らす人々など 270 万 9,770 人に食料を配付。190 万 465 人に衛生用品一式や生活必需品を提供しました。624 万 7,125 人が自活・自給に向けた食料生産のための支援を受けました。さらに、2 万 7,087 人が自活や就労機会の確保を目的とした職業訓練を受け、322 万 1,942 人へ家計の保護・強化を目的とした現金給付を含む収入支援を行いました。



被拘束者の訪問

84 の国や地域にある 885 の収容施設において、83 万 7,029 人の被拘束者を訪問し、2 万 2,624 人と個別に面談を行いました。うち 1,255 人が未成年、1,300 人が女性、1,382 人が民間人でした。個別面談を行った 2 万 2,624 人のうち、新規で訪問・登録したのは 1 万 4,020 人でした。

ICRC 駐日代表部からのお知らせ

[E-newsletter](#) を無料購読しませんか? 世界 90 カ国以上で活動する ICRC の現場から届いた最新ニュースをはじめ、話題のトピック、日本におけるイベント、スタッフ募集などの求人情報を月に一度、日本語でお届けします。日本の外でどんなことが起こっているか、私たちの活動を通じて知っていただき、世界の生きる力を支えるために何ができるのか、一緒に考えていただければ嬉しいです。



ICRC

赤十字国際委員会 駐日代表部

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-36

レジデンスバイカウンテス #320

Tel: 03-6628-5450

Email: tok_tokyo@icrc.org

jp.icrc.org



戦時に
人間性を保つ
世界共通の約束事

x.com/ICRC_jp

facebook.com/ICRC.jp